

# しょう 翔

令和4年

95

【岸田文雄季刊誌】

Fumio Kishida DETAILED REPORT MAGAZINE  
[自由民主党広島県第一選挙区支部]



## Contents

- G20・ASEAN・APEC  
東南アジア歴訪
- 令和5年は広島の年に  
G7広島サミット開催へ



# G20・ASEAN・APEC

## 東南アジア歴訪（11月11日～19日）

内閣総理大臣

### 岸田文雄

8日間にわたり、ASEAN（東南アジア諸国連合）関連首脳会議、G20パリ・サミット及びAPEC（アジア太平洋経済協力）首脳会合に出席いたしました。この一連の会合は、世界主要国の首脳が対面して集まる貴重な機会です。米国のバイデン大統領、中国の習国家主席、韓国の尹大統領を始め、多くの首脳と、文字どおり膝を突き合わせて、主張すべきは主張しながら、協力と信頼を深めることができました。

ウクライナ侵略や東アジアにおける地域情勢の緊迫化。世界の平和秩序は、大きな曲がり角を迎えています。国民の皆さんの不安も大きくなっています。21世紀の世界の中で、日本を守り、日本国民の安心を保つ。この政治の最大の使命を推し進めていく上で、大事な一歩を踏み出すことができた1週間だったと振り返っています。

いかなる意味で大事な一歩だったと考えているか、まず、主な二国間首脳会談について申し



米国バイデン大統領と



カンボジアのフン・セン首相と（左）岸田文雄首相夫人

2に、グローバル・サウスとの関係強化、そして第3に、北朝鮮情勢や東シナ海・南シナ海を含め、厳しさを増す地域情勢への対応です。

第1の点について、ロシアによるウクライナ侵略は、国際秩序の根幹を揺るがす問題であり、引き続き、関係国が連携して断固として取り組む必要があります。今回、ロシアも参加するG20において、ほとんどのメンバーがウクライナでの戦争を強く非難した旨、そして、我が国が繰り返し訴えてきた、ロシアによる核の威嚇は断じて受け入れられない、ましてや、その使用はあってはならない旨が盛り込ま



カナダのフリーマン首相とドイツのシュolz首相

また、首脳宣言が発出されたことは、来年のG7広島サミットでの核軍縮に向けた議論にもつながるものであり、これを高く評価します。

また、G20サミット中に起こったポーランドにおける爆発を受けて、G7、NATO（北大西洋条約機構）の首脳が緊急

第2の点について、ウクライナ情勢等をめぐって生じつつあるともいわれる国際社会の分断を食い止めるため、グローバル・サウスとの関係を強化する必要があります。

そのため、ASEAN各国やルワンダ、南アフリカ、チリなどの国々の首脳との意見交換の機会も活用しつつ、食料・エネルギー・安全保障、気候変動、国際保健等に関する日本の取組を発信するとともに、法の支配に基づく国際秩序の維持・強化がグローバル・サウスの発展にとって極めて重要であるという点を強く訴えました。

そして第3の点について、地域の安全保障環境が厳しさを増す中、インド太平洋の平和と安定を守るため、各国と連携や対話を重ねていくことが重要です。



ASEAN+3首脳会合

ASEAN友好協力50周年の節目の年であり、12月をめどに東京でASEAN特別首脳会議を開催いたします。また、日本は、アジア唯一のメンバーとしてG7議長国を務め、アジアから選出された国連安保理非常任理事国となります。

私自身が先頭に立って、我が国自身の安全と繁栄のためにも、「インド太平洋に関するASEANアウトLOOK(AOIP)」と本質的に原則を共有する「自由で開かれたインド太平洋(FOIP)」の推進などを通じて、引き続きアジアの繁栄、国際経済及び地球規模課題を始めとする国際社会の諸課題に対応していきます。

改めて、今回それぞれの会議の議長を務めた、フン・セン・カンボジア首相、ジョコ・インドネシア大統領、プラユット・タイ首相を始めとする各国政府関係者の皆様に感謝申し上げます。



シンガポールのリー・シェンロン首相と

上げます。

バイデン大統領との日米首脳会談では、強固な日米同盟の役割について改めて認識を共有し、地域・国際社会の平和と繁栄のため、その抑止力・対処力の一層の強化を図ることで一致いたしました。

バイデン大統領及び尹大統領との間で実施した日米韓首脳会合では、北朝鮮による挑発行為が続く、今後更なる挑発行為も想定される中、ミサイル警戒データをリアルタイムで共有することなど、引き続き日米韓で連携して対応していくことで一致いたしました。

また、北朝鮮によるICBM（大陸間弾道ミサイル）級弾道ミサイル発射を受けて急遽開催された日、米、韓、豪、カナダ、ニュージーランド、こうした国々による会合においても、緊密に連携していくことを確認するとともに、今回の弾道ミサイル発射を最も強い言葉で非難し、断じて容認できないとの点において一致いたしました。

それぞれ約3年ぶりとなる日中・日韓首脳会談も行いました。いずれも様々な課題はあるものの、両首脳と、じっくりと建設的な意見交換を行うことができました。

初めて対面で会談した習主席とは、日中関係の大局的な方向性とともに、課題や懸案、協力の可能性について率直かつ突っ込んだ議論を行いました。その上で、「建設的かつ安定的な日中関係」の構築に向け、引き続き首脳レベルを含め緊密な意思疎通を行っていくことで一致いたしました。

ウクライナ情勢についても、核兵器を使用してはならず、核戦争は行っていないとの見解で一致いたしました。

致いたしました。

尹大統領とは、北朝鮮問題や「自由で開かれたインド太平洋」の実現に関して連携していくことを確認し、また、二国間の懸案の早期解決を図ることで改めて一致しました。

一連の国際会議を通じて、国際社会に毅然とした前向きなメッセージを出せたことも大きな一歩と考えます。私は、日本と世界の平和と繁栄を実現するため、3つの狙いをもって臨みました。

この3つの狙いとは、第1に、ロシアのウクライナ侵略に対する国際的連携の維持・拡大、第



G20首脳会合



# 令和5年は広島の年にーG7広島サミット開催へー

G7広島サミットが行われる令和5年は、広島にとっても大事な一年となります。G7サミットは、自由や民主主義、法の支配、人権といった基本的な価値を共有する主要国の首脳が集まり、国際社会の外交・安全保障について議論する大切な枠組みです。

ロシアの核による脅しや北朝鮮による数々の挑発はいま、国際社会に大きな影を落としています。これらを踏まえG7広島サミットにおいては、世界各国の皆さんに被爆の実相を知ってもらい、「核兵器のない世界」の実現に向けた機運を高める場にしていく必要があります。同時に、自由・民主主義・法の支配といった普遍的価値を共有する国々と、国際社会の平和と安定、そして発展のために議論をしていかなければなりません。この他にも、エネルギー問題や物価高問題、環境、食糧問題など、議論すべき地球規模の課題はたくさんあります。G7議長国としてこれら様々な議論をリードし、リーダーシップを発揮していかなければなりません。

広島に世界の注目が集まります。ぜひ広島に皆さんにもG7広島サミットにご協力賜りたいと存じます。ともに大切なサミットを成功に導いてください。



2021年G7ドイツ・エルマウ・サミット



北朝鮮のミサイル発射を受けての緊急G7首脳会合



G7各国首脳と記念ショットを

## 岸田文雄後援会事務所

### ●国会事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町2-2-1  
衆議院第一議員会館1222号室  
TEL (03) 3508-7279 (直通) FAX (03) 3591-3118

### ●広島事務所

〒730-0013 広島市中区八丁堀6-3  
和光八丁堀ビル9階  
TEL (082) 228-2411 (代表) FAX (082) 223-7161

### ●岸田文雄ホームページ

<https://www.kishida.gr.jp/>



## 岸田文雄プロフィール

昭和32年生まれ。平成5年の衆議院議員総選挙において初当選。以後9期連続当選。

自民党青年局長・商工部会長・経理局長、建設政務次官・文部科学副大臣、衆議院厚生労働委員長などを歴任後、平成19年内閣府特命担当大臣(沖縄担当など)で初入閣。平成23年党国会対策委員長。平成24年には保守本流の政策集団である「宏池会」の会長に就任する。

平成24年外務大臣。戦後最長となる4年8ヵ月間外務大臣を務めると共に、オバマ大統領広島訪問などを実現させる。また憲政史上初の外務大臣と防衛大臣を兼務。

令和3年自民党総裁選で勝利し、

第100代内閣総理大臣に就任。同年衆議院総選挙で自民党が絶対安定多数を確保。第101代内閣総理大臣に就任し、新型コロナ対策や経済対策、外交安保などの諸課題に対して日本のリーダーとして取り組む。

## 岸田文雄のSNS



LINE



Twitter



Facebook



Instagram